

**第2回二輪車車両区分見直しに関する有識者検討会
議事概要**

1 開催日時等

(1) 開催日時

令和5年11月13日(月) 10時00分から12時00分まで

(2) 開催方法

経済産業省別館2階238各省庁共用会議室での対面参加又はオンライン参加

(3) 出席者

＜有識者委員＞(敬称略)

東京都市大学理工学部教授	槇徹雄(座長)
大阪大学大学院人間科学研究科准教授	中井宏【オンライン】
自動車安全運転センター安全運転中央研修所研修部 研修統括	上原厚美【オンライン】
自動車安全運転センター理事、元国際ラリースト	三好礼子【オンライン】
警視庁府中運転免許試験場技能試験官	清水晃
警視庁府中運転免許試験場技能試験官	和地一彦
阪神ライディングスクール教習指導員	國友智子【オンライン】
一般社団法人日本自動車工業会二輪車車両区分部会 横断タスクフォースリーダー	中村隆
一般社団法人日本自動車工業会二輪車安全教育分科会長	飯田剛
日本自動車研究所研究員	栗山あずさ【オンライン】

＜関係省庁＞

警察庁交通局運転免許課長

＜オブザーバー＞

経済産業省製造産業局自動車課長
国土交通省物流・自動車局車両基準・国際課長

＜第2回検討会オブザーバー＞

一般社団法人日本自動車工業会二輪車委員会 国際法規戦略部会長	三留崇史
一般社団法人日本自動車工業会二輪車委員会 技術・基準調和部会長	岡知生
一般社団法人日本自動車工業会二輪車委員会 企画部会利用環境分科会長	小久保慎一
一般社団法人日本自動車工業会二輪車委員会 企画部会利用環境分科会委員	飛田淳司

2 議事進行

(1) 構成員紹介

事務局より開会を宣言し、検討会構成員を紹介。

(2) 事務局及び自工会による説明・討議

配付資料に沿って、事務局から分科会の議論内容、報告書骨子案について、自工会から一般運転者を対象とした試乗会結果、不正改造防止措置等について説明があった後、討議が行われた。有識者委員による主な意見は次のとおり。

ア 試乗会結果について

- 試乗会において、転倒や危険な走行等がなくよかった。習熟運転者だけでなく、一般の方にとっても新基準原付が現行原付相当に安全であるという評価ができると思う。
- 試乗された方の中で、身長の高い方の意見等を踏まえると、メーカーにはシートのアレンジ等も含めて、しっかり開発してもらうことが必要。
- 新基準原付は、低速域でのトルクが太いので、直進時における、現行原付と比べた場合の新基準原付の操作の容易性について、ポジティブな（操作が容易であるという）評価がなされているのではないか。
- 比較の方法はおおむね妥当であると思う。一般の方が実際に乗る車を購入する際には車両の大きさや車重の違いを考慮した上で選ぶことが重要だと思う。ほとんど二輪車の乗車経験がない方も、試乗会を通じて新基準原付に乗り慣れたことが全体の感想欄から読み取れた。
- 車両が変わることを機に、原付のルールや注意事項を改めて周知する必要があるのではないか。

イ 報告書骨子案について

- 試乗会結果と同様に、習熟運転者による走行評価結果についても比較車種の選定理由等を資料に記載いただいた方がよいのではないか。
- 習熟運転者による走行評価の結果に関して、新基準原付を現行小型二輪車と比較した場合の加速性能の差についても記載した方がよいのではないか。
- 新基準原付は、車体としての外見は小型自動二輪車であるので、現行原付と同等として扱う場合は、その外見上の識別ができることが必要である。特にナンバープレートについて、新基準原付は現行原付と同じようにすることで小型二輪車と区別することが必要ではないか。
- 報告書本体では、走行評価結果等について、本文での記述に加え、参考資料でも構わないので詳細を添付してもらいたい。

ウ 不正改造防止措置等について

- 今回の制度改正に当たって、取り締まる際に外観上容易に識別できるかという観点からも検討してもらえるとよい。
- 最高出力を物理的に制御した場合の抑制機構に対する改造防止措置として、工場 で用いられる特別の工具でなければ抑制機構を外すことのできない構造とする予定であるから、一般の方による改造は困難ということと理解。